



令和3年5月25日

SDGs 未来都市の選定について

高山市が、SDGsの達成に向けた優れた取り組みを提案する都市として、国の「SDGs 未来都市」に選定されました。

昨年度までの3年間で93自治体が選定されており、今年度は53自治体が応募のうち、31自治体が選定されました。高山市は、岐阜市、美濃加茂市とともに**県内の市町村では初めての**選定であり、選定証授与式が令和3年5月21日にオンラインで開催されました。

今後は、国と連携しながら3年間の計画を策定し、SDGsの推進に取り組んでまいります。

1 概要

「SDGs 未来都市」とは、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取り組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を、国が選定するものです。

2 SDGsとは

SDGsとは、2015年の国連サミットで採択された2030年を期限とする、国際社会全体で取り組む持続可能な17の開発目標です。

高山市では、第八次総合計画の基本理念において、市民が自信と誇りを持って、社会の一員としての役割を果たし、一人ひとりの行動がSDGsへの貢献につながるよう、市民とともにまちづくりに取り組むこととしています。

3 提案概要

～「世界を魅了し続ける「国際観光都市 飛騨高山」の実現」～

飛騨高山特有の風土と飛騨人（先人）が生み出し、先人たちが守り、築き上げてきた自然や歴史・伝統が後世に引き継がれるとともに、それらを活かした地域経済の発展が図られ、心豊かな暮らしが営まれている、国内外から選ばれ続ける「国際観光都市 飛騨高山」の実現を目指します。

(1) 地域特性を活かした産業が活性化し、賑わいと魅力にあふれるまち

地域資源の活用により、観光をはじめとした基盤産業が成長し、市外からの資金・人材の獲得が進むとともに、産業間・企業間のつながりの強化により、市内経済全体への波及と経済の好循環が生まれ、まち全体が賑わいと魅力にあふれている。

(2) 歴史・伝統が継承され、郷土への誇り・愛着が持てるまち

先人から受け継いだ歴史遺産、伝統文化が守られ、学校・地域・企業など多様なステークホルダーの協働・連携した取り組みにより、郷土への誇りや愛着が育まれているとともに、飛騨高山の歴史・伝統が国内外へ広く周知され、持続可能な地域づくりに対する国際的協働が進んでいる。

(3) 自然がもたらす多様な恵みを活かすとともに、脱炭素社会に貢献するまち

森や水、大地など自然がもたらす多様な恩恵への理解が進み、環境の保全が図られるとともに、豊かな自然の恵みを活かした地域・産業の活性化が図られ、国内外から注目される地球環境にやさしい先進的な脱炭素社会に向けた取り組みが進んでいる。

問 合 先	
担当課	企画部 企画課
課長	清水 洋一
係名	企画係
係長	牛丸 大輔 担当 小野 貴史
連絡先	電話（直通 0577-35-3131）